

「目標達成に向かって組織的に取り組む『芯の通った学校組織』推進プランに基づく市町村学校組織力向上計画

①学校運営体制の状況	
ア 目標設定と学校評価、教職員評価のあり方	
<p><目標設定等></p> <ul style="list-style-type: none"> ◇4点セットの整合性に力点を置いた指導を重ねた。 ○目標・取組が具体的なものとなるとともに、指標が数値化され、結果・検証・評価が見えやすくなった。 ●前年度の教育課題(評価結果)に基づいた目標の設定・指標のレベル(数値化)の研修が不十分であった。 <p><学校評価></p> <ul style="list-style-type: none"> ◇教育目標の達成に向けて4点セットを基に、学期ごとに短期評価を行い年度末に年間総括評価をし、次年度につなぐ。評価項目によっては、2ヶ月のサイクルで評価。 ○教務主任を中心に一連の評価の取組が、実行できた。 ○各校の学校評価項目に国東市統一項目を位置づけ、市全体の検証に生かした。 ●4点セットの評価を保護者や児童生徒と共有する段階まで至っていない。 <p><教職員評価></p> <ul style="list-style-type: none"> ◇校長の経営方針の具現化を図るためには、各教職員の分掌目標を重点目標と連動させる校長のリーダーシップを強化する。 ○校長だけでなく教務主任が、面談に同席するなどして、個人目標の設定を行った。 ●学校経営目標に関しては、焦点を絞ってPDCAをより短期にして子どもの変容から、それぞれの職務の取組を明確にする必要がある。 <p>イ 学校管理規則の規定 (改正1月30日、施行4月1日)</p> <p>ウ 学校運営体制の課題</p> <p><教務主任等の役割></p> <ul style="list-style-type: none"> ○教務主任が研究主任を兼務していない。 ○教育委員会主催の教務主任会を学期に一度持った。 ●主任等を中心にミドルアップマネジメントを進めていくことはまだである。 ●校長・教頭・教務主任で計画的に連絡会を持つようにする必要がある。 <p><運営委員会></p> <ul style="list-style-type: none"> ○全ての学校に校長の意思決定を補佐するため、教務主任をはじめとする関係主任等からなる運営委員会を置くことができた。 ●よりよい運営委員会となるよう、各学校の運営委員会の実態を校長会等で報告、交流していく必要がある <p><校務分掌組織></p> <ul style="list-style-type: none"> ○これまでの校務分掌表を学校運営組織図を含めた形態に改めた。 ●校務分掌の整理統合を行い、部門別組織の責任者(主任等)を明確にする必要がある。 	

②行動計画	
ア 目標設定と学校評価、教職員評価のあり方	
<p>○4点セットを学校経営・学校運営(学校要覧・学校経営案・学級経営案・自己申告シート等)に生かし、短期的なサイクルで見直し・検証することにより教育目標の実現に迫る。</p> <p><目標設定等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・重点目標は、短期(1学期)・中期(1年)にわけ、数値化を必ず行う。 ※内容によっては、2ヶ月ごとに評価。 ・4点セットについては、運営委員会で策定する。 ・3学期に次年度の目標(案)を作成し、PDCAサイクルの充実を図る。 ・保護者には年度当初のPTA総会で、地域の人にはホームページで公表する。 <p><学校評価></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学期毎に短期(1学期)・中期(1年)の項目について評価する。 ・年度末に年間の総括をし、次年度への基本的な目標設定に繋げる。 ・学校評価の分析は、担当組織で行い、運営委員会を経て全教職員で共有する。 ・学校評価項目に国東市統一項目を位置づける。 ・学校評価ガイドラインを見直す。(評価項目によって短期のサイクルにする。学校要覧や自己申告シートとの関連を図る。) <p><教職員評価></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己目標を4点セット、学年目標、校務分掌と繋げる。 ・自己目標は、評価できやすい具体的数値やスケジュール化したものにする。 ・自己目標は、主任の指導を受けながら設定する。 <p>イ 学校管理規則の改正</p> <ul style="list-style-type: none"> ○改正の主旨が生きるよう、周知徹底を図るとともに、その実態把握を行う。 <p>ウ 学校運営体制の充実</p> <p>○ミドルリーダーが学校運営にリーダーシップを発揮して、学校経営方針や活動の方向性を教職員に周知徹底させる。そのため、「トップダウン」「ボトムアップ」の機能を推進し、運営委員会を充実させる。</p> <p><教務主任等の役割></p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度当初の全員集会等において教務主任や各種主任の職務内容を明確に示す。 ・校長・教頭・教務主任で計画的に連絡会等を持つ。 ・教育委員会主催の教務主任会を学期に一度持つ。 ・健康面精神面から担当一人に任せるのではなく主任等を中心に組織で対応する。 <p><運営委員会></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教務主任をはじめとする関係主任等からなる運営委員会のより効果的な運営を図る。 ・各学校の運営委員会の実態を校長会で報告、交流する。 ・組織力向上モデル校(小2・中1)を設置し、その成果を各種研修会等で普及していく。 <p><校務分掌組織></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校運営組織図を基に、担当の職務を明確にする。 ・校務分掌の整理統合を行い、部門別組織の責任者(主任等)を明確に位置づける。 	

③工程(推進スケジュール)			
	平成24年度	平成25年度	平成26年度
ア 学校評価	<ul style="list-style-type: none"> ・アクションプランの概要を周知(1月) ・国東市学校評価ガイドラインの改訂(2月) ・国東市統一評価項目の作成(2月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイドラインに沿った学校評価のあり方についての指導、検証 ・国東市統一評価項目の位置づけ ・教務主任会(年3回)での学校評価研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・検証に基づくガイドライン改善充実 ・国東市統一評価項目の見直し ・教務主任会(年3回)での学校評価研修 ・評価サイクルを短期に行う
イ 管理規則の改正	<ul style="list-style-type: none"> ・学校管理規則の改正(2月) (主任の任命、運営委員会・職員会議のあり方) ・施行(4月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・管理規則の指導徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ・管理規則の徹底
ウ 学校運営体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・教務主任の職務内容の周知徹底(2月) ・運営委員会の設置にむけての指導(2月) ・校務分掌表の整理(2月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・教務主任会の開催(学期毎に) ・運営委員会の指導 ・全学校への校務分掌への位置づけ 	<ul style="list-style-type: none"> ・教務主任会の充実 ・運営委員会の充実 ・校務分掌組織表の改善充実 ・モデル校の成果を普及
④成果指標(達成指標及び取組指標)			
	平成24年度	平成25年度	平成26年度
<達成指標>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評価ガイドラインを改訂 ・学校管理規則の改正 ・校務分掌組織の整理統合 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評価計画書を提出(15/15) ・運営委員会を全学校設置(15/15) ・職員会議を適正に実施(15/15) ・校務分掌組織表の作成(15/15) 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評価ガイドラインの改善充実 ・運営委員会の充実(15/15) ・校務分掌組織表の改善充実(15/15)
<取組指標>	<ul style="list-style-type: none"> ・2月の校長会で学校評価ガイドラインの周知 ・2月までに国東市統一項目の作成 ・1月の校長会で学校管理規則の改正、周知 	<ul style="list-style-type: none"> ・重点目標を短・中・長期で整理し数値化(15/15) ・国東市統一評価項目を全学校に位置づけ(15/15) ・教務主任会を学期に一度開催し、職務内容、学校評価への取組を共有 ・学校運営体制についての実態報告を校長会で学期毎に実施(15/15) 	<ul style="list-style-type: none"> ・重点目標の見直し(15/15) ・国東市統一評価項目の見直し(15/15) ・教務主任会の充実 ・学校運営体制の改善充実(15/15) ・評価サイクルを短期で行う(15/15)
	<ul style="list-style-type: none"> ・2月の校長会で校務分掌表を整理統合し、形式を周知 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営組織を基にした校務分掌組織表を作成(15/15) ・4月に全員集会を開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・校務分掌組織表の改善充実(15/15) ・4月に全員集会を開催

「芯の通った学校組織」構築のための
先進的・先導的取組(モデル市町村の指定)

[主幹教諭 1名希望]

組織的な取組の内容

主幹教諭は、学校の組織力向上を図るため、ミドル・アップダウン・マネジメントの要となって、校長及び教頭を助け、命を受けて校務の一部を整理し、並びに児童生徒の教育をつかさどる。プロジェクトリーダーである主幹教諭の以下の先導的

■校内組織の強化

＜目標管理制度の改善＞

- ①主幹教諭指導による学校教育目標と連携した各教職員の数値化した必達目標の設定
- ②主幹教諭や関係する主任等による適切な指導助言及び校長面談への参加
- ③検証改善PDCAサイクルを学期毎に実施

※ 主幹教諭により運営委員会の企画調整及び組織マネジメントを通して学校の組織力向上を図る

■校種間の連携強化

＜幼保小中の連携推進＞

- ①主幹教諭及び担当職員による幼保小連絡会議の開催
- ②主幹教諭と担当者による幼保小交流事業の推進
- ③主幹教諭のコーディネートによる小中連携会議の実施

■保護者地域との連携強化

＜協育ネットワーク事業の推進＞

- ①外部人材活用の教育課程への位置づけ
- ②主幹教諭と中学校区毎に配置している協育コーディネーターとの連携
- ③放課後学びの教室学習アドバイザーとの連携

行動計画

＜目標管理制度の改善＞

- ①学校教育目標と連携した各教職員の数値化した必達目標の設定
 - 各分掌毎に短期・中期・長期で必達目標を提示する。
 - 目標達成のための取組及び未達成の場合の対策についても記載する。
- ②目標設定にあたり主幹教諭・関係する主任等による適切な指導助言及び校長面談への参加
 - 目標設定においては、学校目標や分掌目標との関連性について適切に指導助言を行う。
 - 4月・1月の校長面談に主幹教諭・関係主任が同席し指導助言を行う。
- ③検証改善PDCAサイクルを学期毎に実施
 - 学校評価年間計画に位置づける。
 - 評価検討委員会を組織する。
 - 評価結果を公表する。

＜幼保小中の連携＞

- ①主幹教諭及び担当職員による幼保小連絡会議の開催
 - 年5回開催する。(5月8月10月11月2月)
 - カリキュラムの活用・見直しを行う。
- ②主幹教諭と担当者による幼保小交流事業の推進
 - 年6回実施(5月～3月)
 - 就学前幼児の実態把握、情報収集
- ③主幹教諭のコーディネートによる小中連携会議の実施
 - 主幹教諭が事務局となり年2回実施する。
 - 統一取組事項を決定し検証していく。
 - 生徒指導上の記録の管理・活用
 - 統合や小中一貫教育を視野に入れた内容の充実を図る。

＜協育ネットワーク事業の推進＞

- ①外部人材活用の教育課程への位置づけ
 - 教育課程に外部人材活用計画を位置づける。
 - ②中学校区毎に配置している協育コーディネーターとの連携
 - 主幹教諭がコーディネーターとの連絡調整及び必要な人材をコーディネートする。
 - 主幹教諭と地域連携教育担当者との連絡調整を行う。
 - ③放課後学びの教室学習アドバイザーとの連携
 - 主幹教諭が学習アドバイザーとの連絡調整を行う。
 - 主幹教諭が学校での学びの教室連携会議の運営調整を行う。
- ＜体力向上に向けた取り組み＞
- ①一校一実践の内容の見直し
 - 主幹教諭が担当主任と連携し体力向上に向けて一校一実践の見直しを行う。

工程(推進スケジュール)

平成25年度

＜目標管理制度の改善＞

- ①学校教育目標と連携した各教職員の数値化した必達目標の設定指導(4月)
- ②主幹教諭・関係する主任等による適切な指導助言及び校長面談への参加(5月)
- ③学期毎の検証改善PDCAサイクルの実施(7月・12月・2月)
- ④学校評価の公表(8月・1月・3月)

＜幼保小中の連携＞

- ①幼保小連絡会議の開催(年5回)
- ②幼保小交流事業のマネジメント(年6回)
- ③小中連携会議の実施(年2回)

＜協育ネットワーク事業の推進＞

- ①外部人材活用の教育課程への位置づけ
- ②中学校区毎に配置している協育コーディネーターとの連携、活用指導
- ③放課後学びの教室学習アドバイザーとの連携、指導

平成26年度

＜目標管理制度の改善＞

- ①学校教育目標と連携した各教職員の数値化した必達目標の改善
- ②主幹教諭・関係する主任等による適切な指導助言及び校長面談への参加改善
- ③学期毎の検証改善PDCAサイクルの改善(7月・12月・2月)
- ※評価項目によっては、2ヶ月のサイクルで評価と改善を繰り返す。

＜幼保小中の連携＞

- ①幼保小連絡会議の実施内容の改善
- ②幼保小交流事業の改善
- ③小中連携会議の実施内容の改善

＜協育ネットワーク事業の推進＞

- ①外部人材活用の教育課程への位置づけ見直し
- ②中学校区毎に配置している協育コーディネーターとの連携強化
- ③放課後学びの教室学習アドバイザーとの連携強化

＜体力向上に向けた取り組み＞

- ①一校一実践の内容の見直し

平成27年度

＜目標管理制度の改善＞

- ①学校教育目標と連携した各教職員の数値化した必達目標の改善充実
- ②主幹教諭・関係する主任等による適切な指導助言及び校長面談への参加改善充実
- ③学期毎の検証改善PDCAサイクルの改善充実(7月・12月・2月)
- ④学校評価の公表のあり方改善充実

＜幼保小中の連携＞

- ①幼保小連絡会議の実施内容の改善充実
- ②幼保小交流事業の改善充実
- ③小中連携会議の実施内容の改善充実

＜協育ネットワーク事業の推進＞

- ①外部人材活用の教育課程への位置づけ見直し
- ②中学校区毎に配置している協育コーディネーターとの連携強化
- ③放課後学びの教室学習アドバイザーとの連携強化

＜体力向上に向けた取り組み＞

- ①一校一実践の内容の改善充実

成果指標(達成指標及び取組指標)

平成25年度

＜目標管理制度の改善＞

- ①全教職員による必達目標の設定(100%)
- ②学期毎にPDCAサイクルを生かした学校評価年間計画の作成(100%)

＜幼保小中の連携＞

- ①アプローチカリキュラム、スタートカリキュラムの活用(100%)
- ②小中連携会議の実施(100%)

＜協育ネットワーク事業の推進＞

- ①外部人材活用の教育課程への位置づけ(100%)
- ②放課後学びの教室連絡会議の開催(100%)

平成26年度

＜目標管理制度の改善＞

- ①全教職員による必達目標の見直し
- ②学期毎にPDCAサイクルを生かした学校評価年間計画の改善

＜幼保小中の連携＞

- ①アプローチカリキュラム、スタートカリキュラムの改善
- ②幼保小中連携会議等の実施内容の改善

＜協育ネットワーク事業の推進＞

- ①外部人材活用の教育課程への位置づけ見直し
- ②放課後学びの教室連絡会議の開催内容改善

＜体力向上に向けた取り組み＞

- ①一校一実践の内容の見直し

平成27年度

＜目標管理制度の改善＞

- ①全教職員による必達目標の見直し
- ②学期毎にPDCAサイクルを生かした学校評価年間計画の改善充実

＜幼保小中の連携＞

- ①アプローチカリキュラム、スタートカリキュラムの改善充実
- ②幼保小中連携会議等の実施内容の改善充実

＜協育ネットワーク事業の推進＞

- ①外部人材活用の教育課程への位置づけ見直し
- ②放課後学びの教室連絡会議の開催内容改善充実

＜体力向上に向けた取り組み＞

- ①一校一実践の内容の改善充実